

# 関東平野北部における 地盤沈下等の状況について

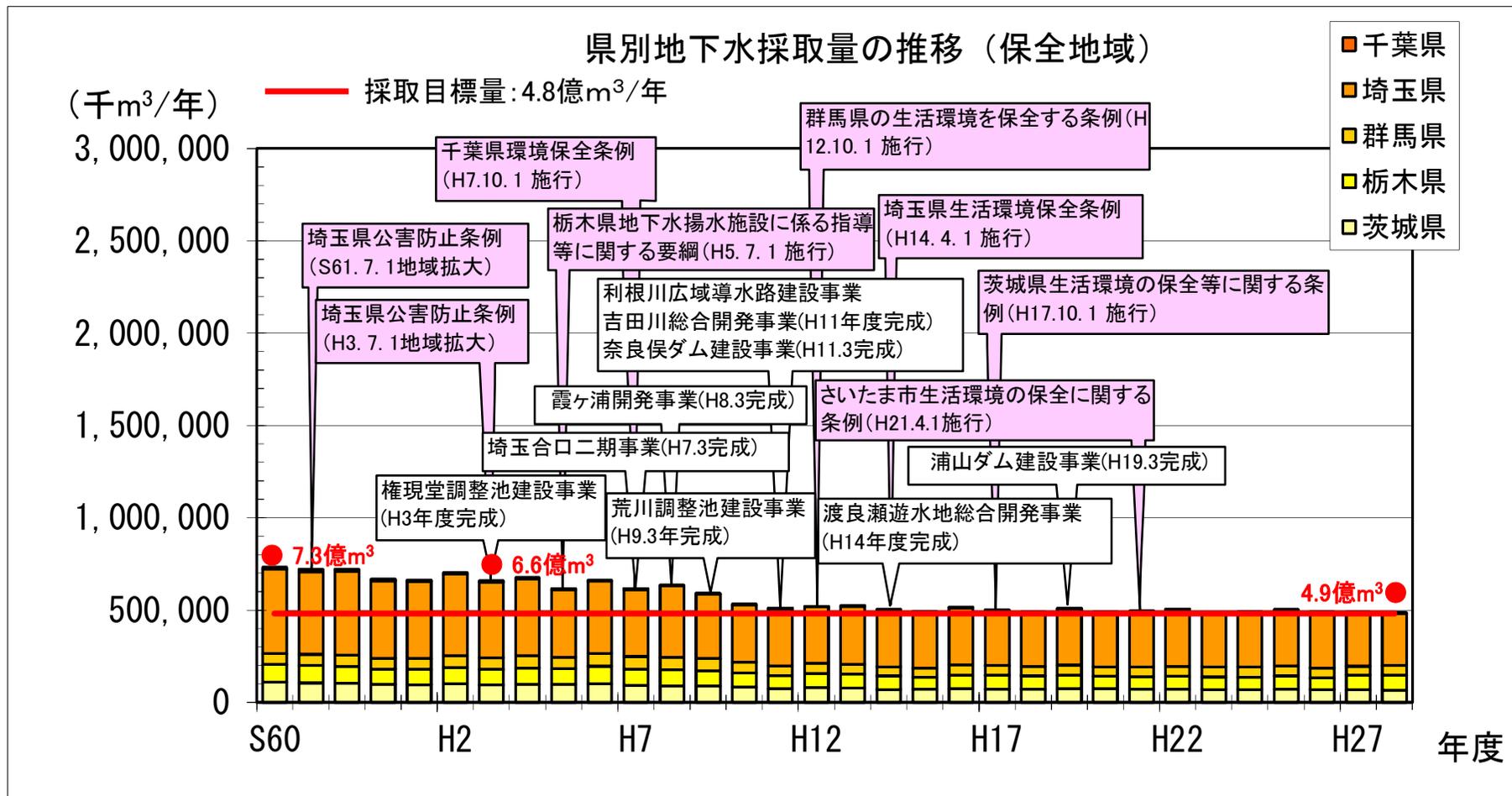
---

令和2年2月  
国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部

# 1. 地下水採取量の経年変化

## 関東平野北部

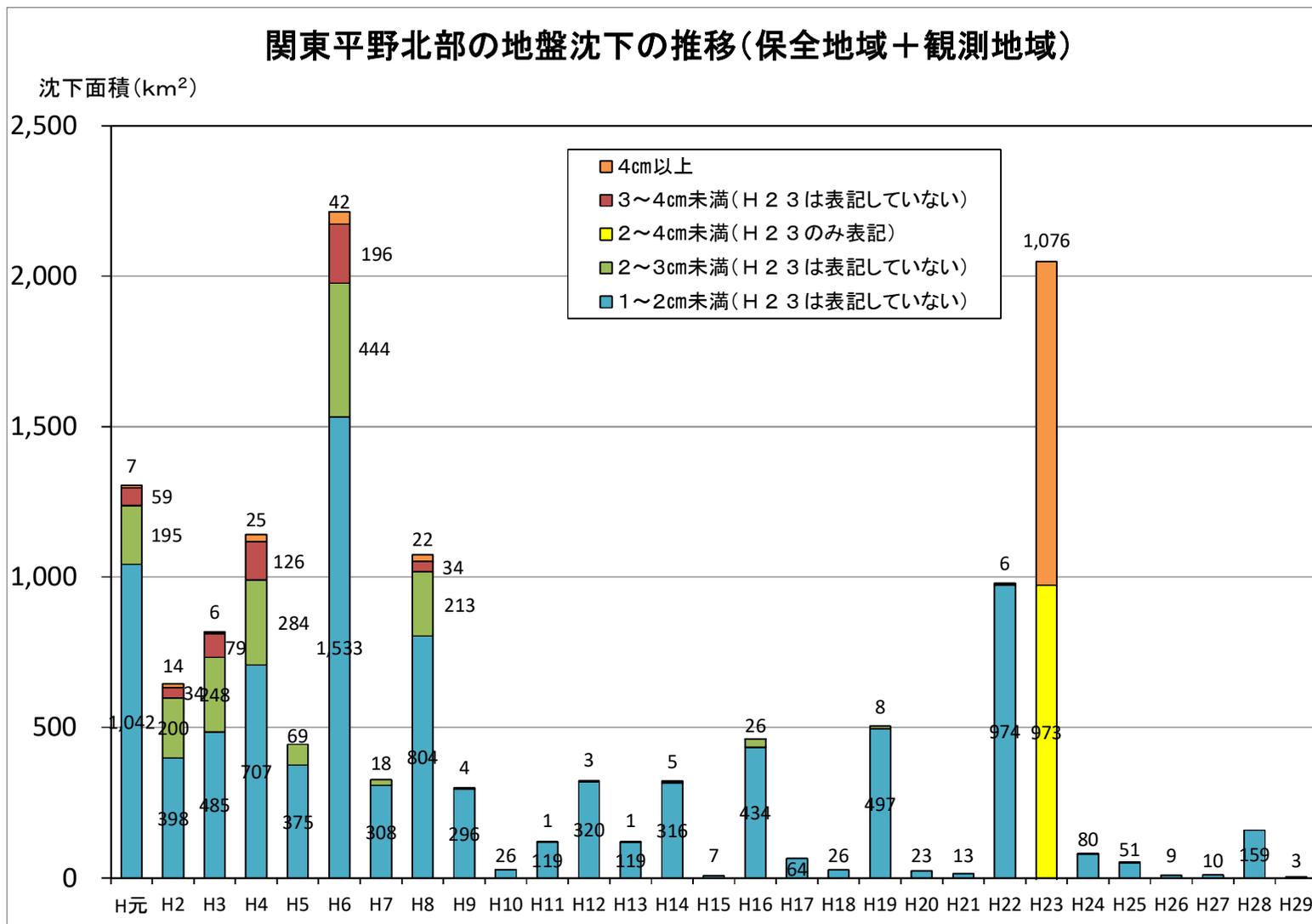
年間の地下水採取量は、地盤沈下防止等対策要綱による総合的な対策（地下水採取規制に係わる条例の施行、代替水源の確保、代替水の供給事業等の完成など）によって、各地域の地下水採取量は減少。



## 2. 地盤沈下面積の経年変化

## 関東平野北部

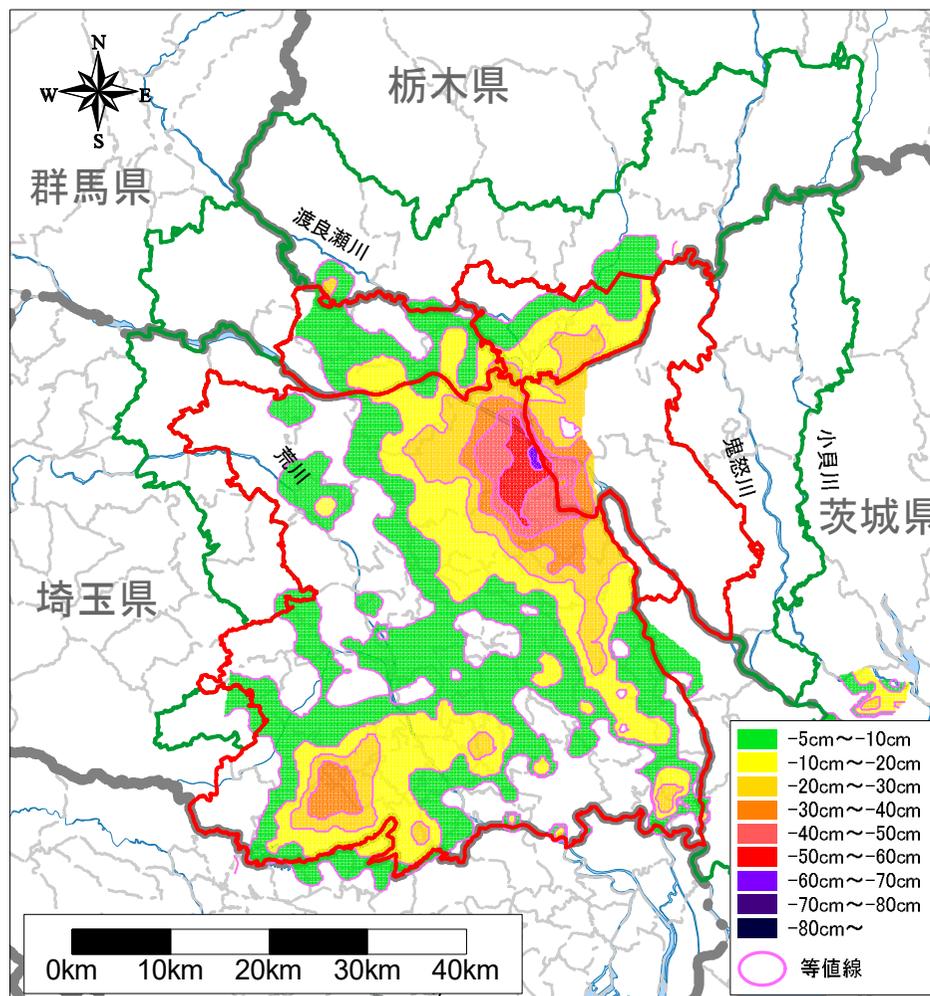
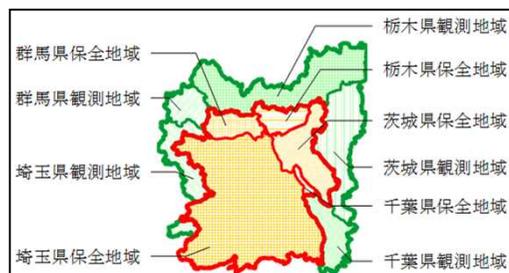
データのある平成元年以降、概ね地盤沈下面積は減少傾向にある。しかしながら、地盤沈下面積がゼロとなる年は無く、直近の平成29年では3km<sup>2</sup>である。湯水であった平成6年には地盤沈下面積が増加した。



### 3. 地盤沈下の状況

## 関東平野北部

昭和53年～昭和63年の10年間累積地盤沈下量について見ると、埼玉県と茨城県の県境を中心に最大40cm以上の範囲が広がっている。また、埼玉県所沢市周辺でも30cm以上の範囲が見られる。



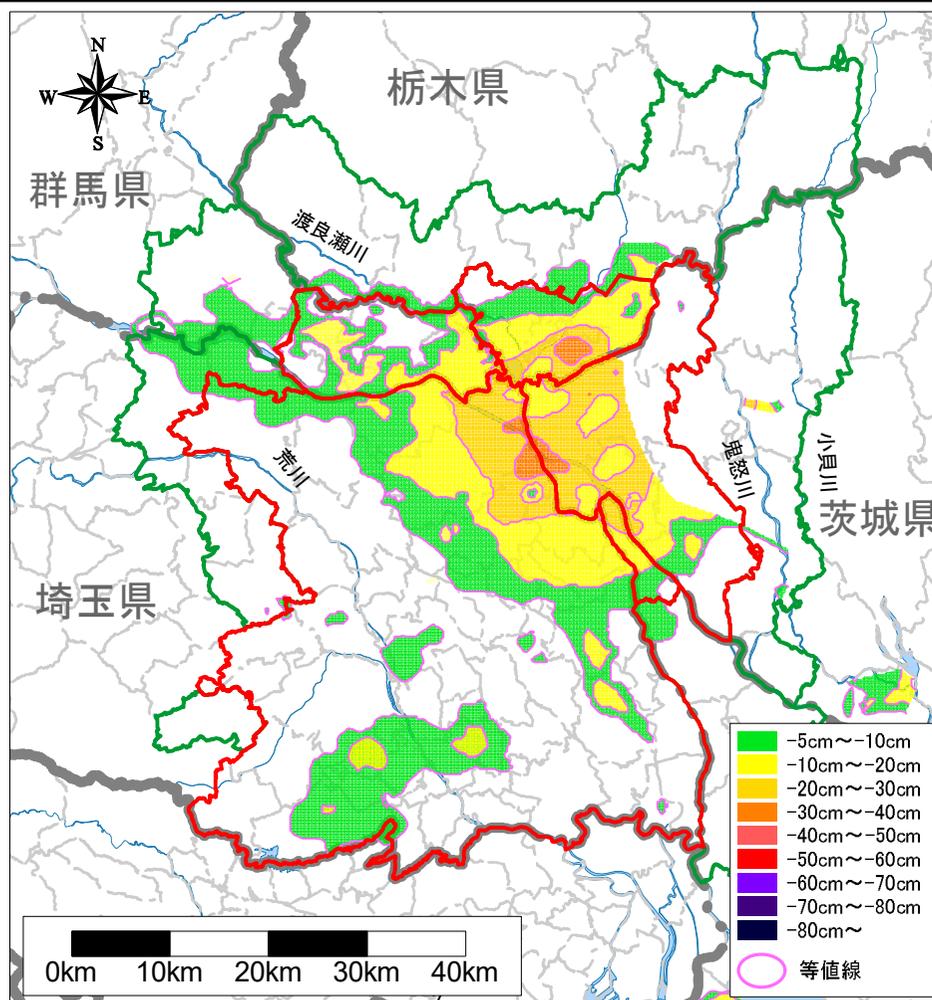
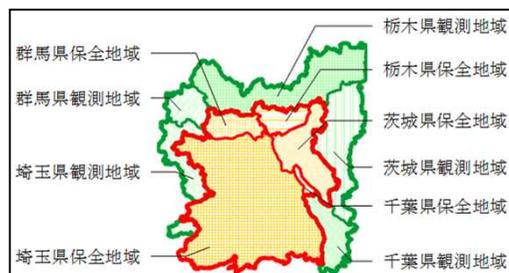
累積地盤沈下量等量線図  
昭和53年1月1日～昭和63年1月1日

### 3. 地盤沈下の状況

## 関東平野北部

昭和63年～平成10年の10年間累積地盤沈下量について見ると、5県の県境が近接する地区で30cm以上の沈下の範囲が見られる。

一方、昭和53年～昭和63年の10年間累積地盤沈下量に比べると、30cm以上の地盤沈下範囲は小さくなっている。埼玉県所沢市周辺でも地盤沈下の範囲及び地盤沈下量は小さくなっている。



累積地盤沈下量等量線図  
昭和63年1月1日～平成10年1月1日

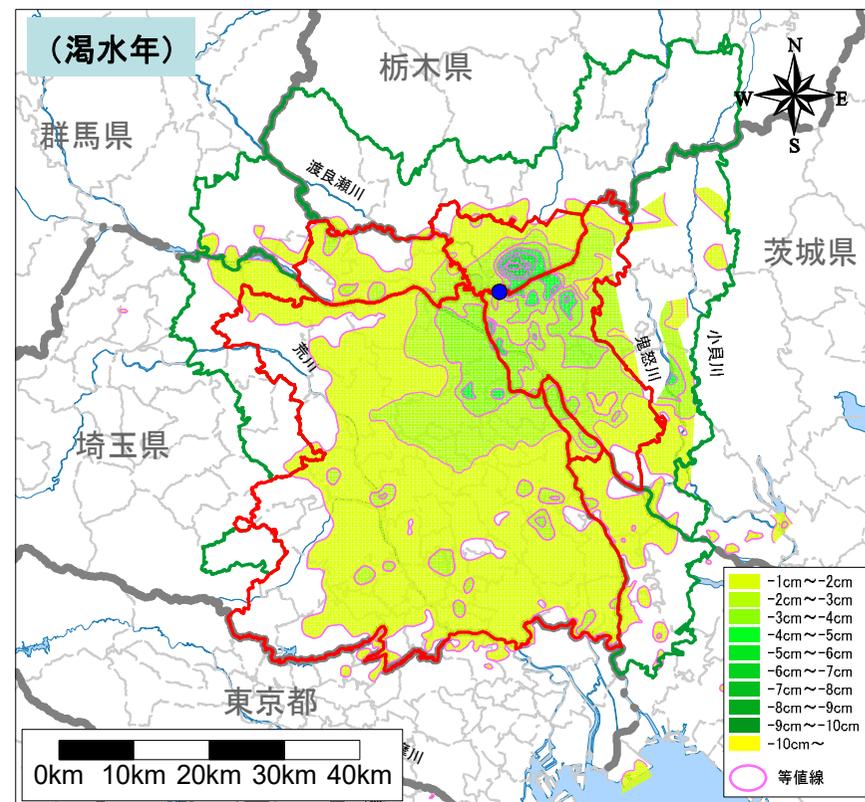
### 3. 地盤沈下の状況

### 関東平野北部

関東平野北部では、概ね地盤沈下面積は減少傾向にある。しかしながら、地盤沈下面積がゼロとなる年は無く、直近の平成29年では3km<sup>2</sup>である。渇水であった平成6年には地盤沈下面積が増加した。



年間地盤沈下等量線図  
(平成29年1月1日～平成30年1月1日)

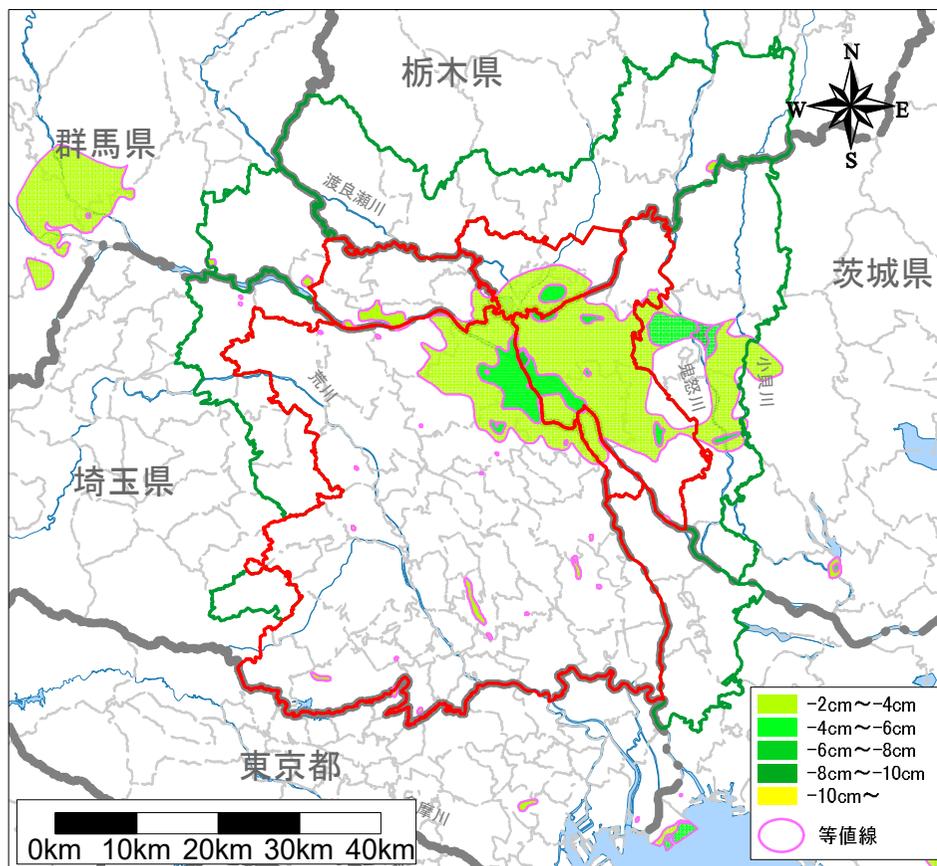


年間地盤沈下等量線図  
(平成6年1月1日～平成7年1月1日)

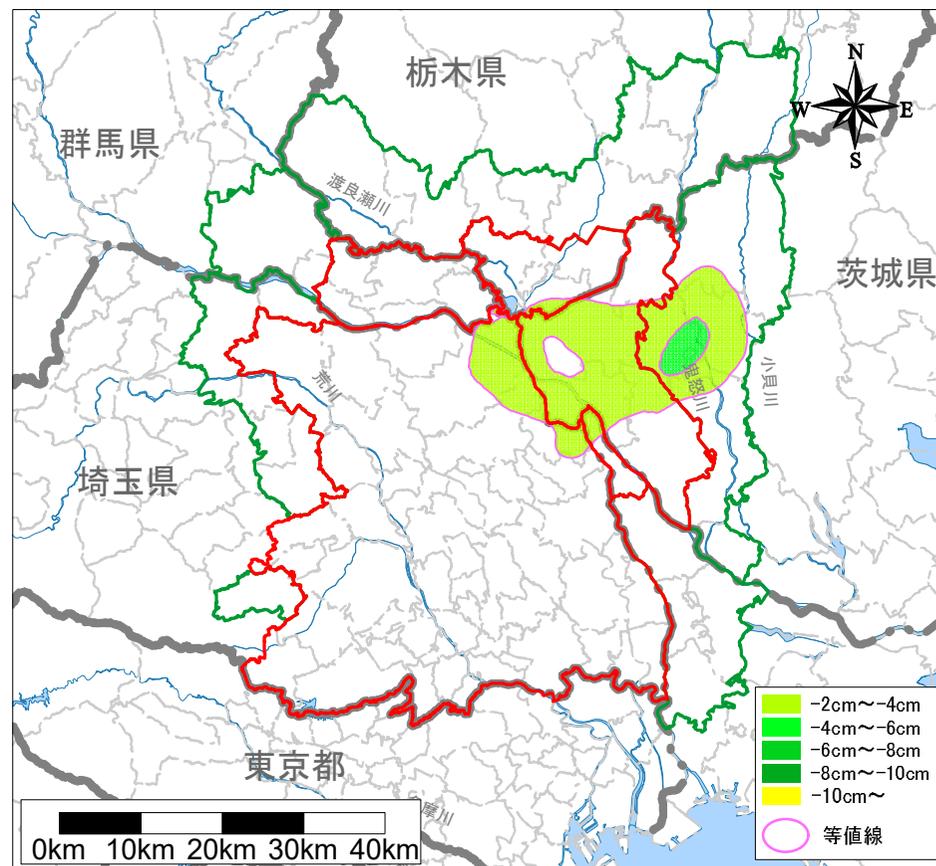
### 3. 地盤沈下の状況

### 関東平野北部

平成15年～平成20年と平成25年～平成30年の5年間の累積地盤沈下等量線を比較すると、地盤沈下は概ね沈静化の傾向にあるものの、依然、関東平野北部の北東部を中心に地盤沈下が継続している地区がある。



5年間の累積地盤沈下等量線図  
平成15年1月1日～平成20年1月1日



5年間の累積地盤沈下等量線図  
平成25年1月1日～平成30年1月1日

(水準点別の測量結果をもとに国土交通省水資源部作成)